

第18期第2四半期 株主通信

〔 2015年4月 1日から
2015年9月30日まで 〕



フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

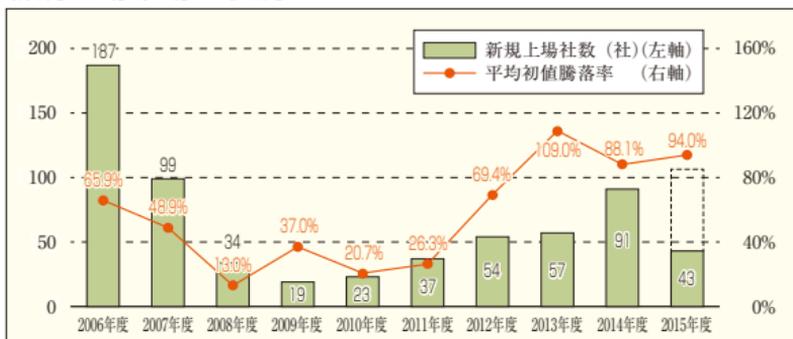


ご挨拶

株主の皆さまには、平素より当社事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに2016年3月期第2四半期の当社を取り巻く環境及び活動の状況をご報告申し上げます。

株式市場では先行きの不透明感が強い展開が続いておりますが、新規上場市場を見ますと、日本国内における当期の新規上場社数は43社となり、前年同期の28社から5割増となりました。また、上場後の初値についても公募価格を上回るケースが多く、新規上場を目指す企業群にとっては前向きな環境が継続しております。

新規上場市場の状況



初値騰落率 $(\text{初値} - \text{公募価格}) \div \text{公募価格} \times 100$

新規上場企業のご紹介

(株) 中村超硬 (本社: 堺市) は、シリコンインゴットを薄く切断する「ダイヤモンドワイヤ」の大手企業であり、6月にマザーズ市場に上場しました。堺市及び地域金融機関の出資を受けて設立したさかいベンチャー育成ファンドからの投資先です。

(株) クレステック (本社: 浜松市) は、顧客企業の製品に添付する取扱説明書や修理マニュアルの作成、翻訳、印刷等を手掛ける企業であり、7月にJASDAQ市場に上場しました。地域金融機関の出資を受けて設立したしずおかベンチャー育成ファンドからの投資先です。

当期間においては地域ファンドからの投資先である上記2社が新規上場することとなりました。



sohatsu onlineのご紹介

“sohatsu online”は、大手企業の新規事業開発・事業提携の担当者やベンチャー企業の経営者を利用者として想定し、企業の情報提供やイベント開催を通じて、企業間連携を促進するWEBサービスです。

[URL] <https://sohatsu.asia>

このような環境の中、当社では長期的な収益の源泉となる新規ファンドの設立を推進しております。

世界的に注目されるテーマである「IoT」を投資ターゲットとするファンド運営会社、(株)IoT Sohatsu Venturesを(株)ブロードバンドタワーと共同で立ち上げ、2015年8月には総額2億円でファンドを設立しました。投資組入れを開始するとともに、ファンド総額50億円を目指し、募集活動に取り組みます。

特定事業会社の戦略投資を推進するCVCファンドとしては、いずれも東証一部上場企業との連携により“ウィルグループファンド”、“フェニックスファンド”を設立しました。また、(株)ゼロワンブースターをはじめとする外部パートナーとの連携によりサービスラインを補強し、大企業と中小・ベンチャー企業間における連携支援を通じた新規事業創出プラットフォーム機能を強化しております。

必ずしも急成長を企図しない企業家を支援するファンドとしては、秋田信用金庫及び秋田周辺広域市町村圏の自治体とあきた創業ファンドを、いわき信用組合と磐城国地域振興ファンドを、それぞれ設立しました。また、秋田県信用組合とは特定投資先の育成支援に注力するターゲット型ファンドとして秋田元気創生ファンドを設立しました。両信用組合とのファンドは全国信用協同組合連合会からの出資、支援を受けて運用を行うファンドであり、同会とは今後も緊密に連携して活動してまいります。

種まきに取り組んできたファンド組成が続いておりますが、その他収益源の確保も含め黒字体質の定着、更なる企業価値の向上に向けて努力を重ねてまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2015年12月
代表取締役社長 今庄 啓二



本資料における記載数値について

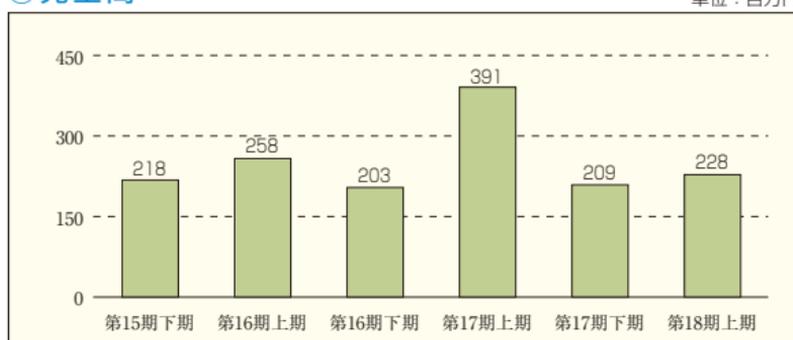
当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に投資事業組合の当社持分のみを連結した個別財務数値を記載しております。



業績ハイライト

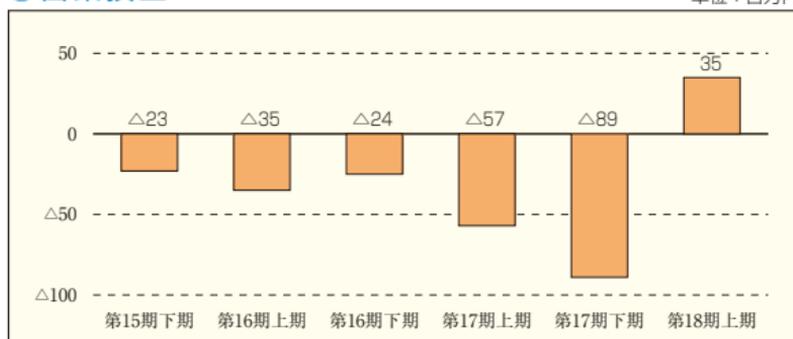
① 売上高

単位：百万円



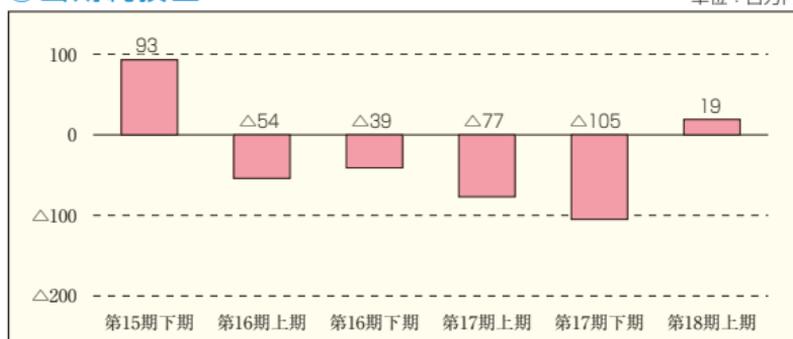
② 営業損益

単位：百万円



③ 当期純損益

単位：百万円



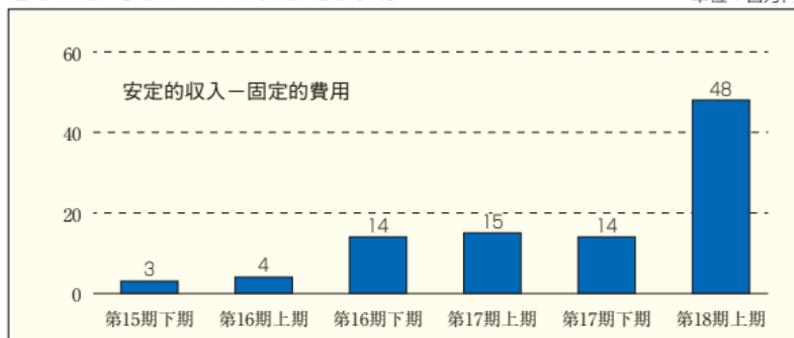
④ 純資産

単位：百万円



⑤ 安定的収入と固定的費用

単位：百万円



当期の業績を見てまいりますと、投資先株式((株)ジェイエスエス)の大型売却があった前年同期比では減収となったものの、(株)中村超硬、(株)クレストックと2社が新規上場したことに加え、(株)クレストックの売却に伴い成功報酬が発生したこと等から、売上高228百万円、営業利益35百万円となり、第9期第2四半期以来9期ぶりの営業黒字を計上しました(3頁①、②)。当期純損益についても19百万円と、第15期以来の黒字着地となりました(3頁③)。

また、今後設立を計画しているファンドへの自己出資金額を確保すべく、2015年5月に新株予約権を発行し、その後当該新株予約権の一部が行使されたことで、当第2四半期末までに109百万円の資金調達を実現しております。この結果、当第2四半期期末時点の純資産は、前期末比133百万円増加し、235百万円(4頁④)となりました。

なお、営業利益から上記成功報酬44百万円を控除すると営業損失となりますが、この影響を考慮しても、前期に引き続き、販売費及び一般管理費等の固定的な支出をファンドからの管理報酬を中心とした安定的な収入によって賄う状態を維持しております(4頁⑤)。

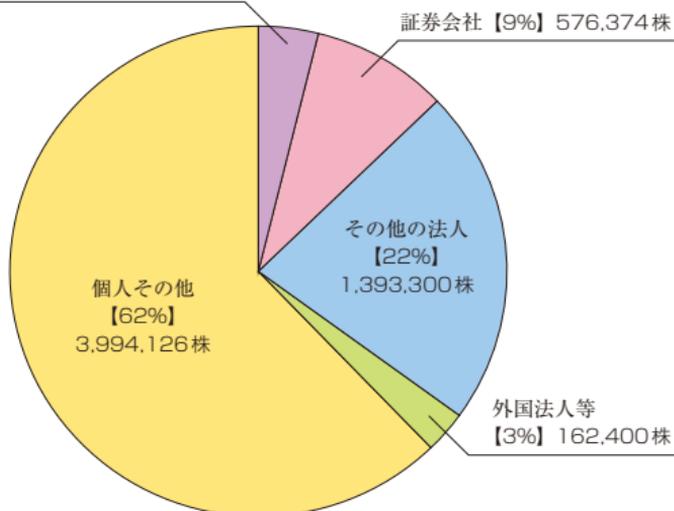


株式データ

- ・発行可能株式総数…………… 18,000,000株
- ・発行済株式の総数…………… 6,394,500株
- ・株主数…………… 4,039人

■所有者別株式分布表

金融機関【4%】268,300株



■大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
1 株式会社カネカ	1,102,400株	17.2%
2 日本証券金融株式会社	246,700株	3.9%
3 株式会社SBI証券	197,900株	3.1%
4 小川 忠久	89,700株	1.4%
5 松井証券株式会社	86,100株	1.3%
6 マイルストーンキャピタル マネジメント株式会社	72,100株	1.1%
7 古我 知史	60,800株	1.0%
8 三菱UFJモルガン・ スタンレー証券株式会社	60,000株	0.9%
9 中澤 敦	59,200株	0.9%
10 則本 敦	57,100株	0.9%

(注) 1. 出資比率は自己株式を控除して小数点以下第二位を四捨五入して表示しております。
 2. 当社は、2015年9月30日現在、自己株式を1,200株保有しております。

会社の概要 (2015年9月30日現在)



- 商号 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
- 設立 1998年9月11日
- 資本金 21億2,051万円
- 従業員数 22名
- 本社 〒604-8152
京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町659番地 烏丸中央ビル
- 管理部 TEL:075-257-2511 FAX:075-211-1601
- 営業部門 TEL:075-257-6656 FAX:075-211-6965



- 東京事務所 〒105-0001
東京都港区虎ノ門二丁目7番5号
ビュレックス虎ノ門
TEL:03-6205-4388 FAX:03-3597-4880
- 地域拠点 青森事務所 岩手事務所 愛媛事務所
三重事務所 堺事務所

役員

代表取締役社長	今庄啓二	取 締 役	鈴木智久
取 締 役	小川 淳	取 締 役	松本直人
取 締 役	藤原 洋	取 締 役	久原 研
常勤監査役	木村 純	監 査 役	岡部陽二
監 査 役	小川忠久		



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	JASDAQ市場
証券コード	8462
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.fvc.co.jp/

(ご注意)

1. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL 0120-094-777(フリーダイヤル)
2. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く)にてお取扱いいたします。

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町659番地 烏丸中央ビル
TEL:075-257-2511 FAX:075-211-1601
<http://www.fvc.co.jp/>